





甲子 乙丑 丙寅 丁卯 戊辰 己巳 庚午 辛未 壬申 癸酉 甲戌 乙亥

子 丑 寅 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

四 牝 禮 和 牙 牙 馬
 嬖 子 惟 鏡 引 弓
 瑤 玉 方 藥 身 骨
 輦 解 黑 虫 船 船
 昭 隱 程 石 龍 龍
 齋 穀 和 齋 齋 齋

商賣 往來 塘氏

凡商賣 持板文字

負教取 志之日記

沈之 河之 清之 夜之

入集用帳目録
之賞也先取留之
年女子大判山判
少式朱人五位
少式朱人五位

江南録上
及灰欠考
年費目
と以て秤合銅
年費目
及灰欠考
江南録上
と以て秤合銅

通判付可^つ以^り之^を麥^{こむぎ}實^み

也^{なり}雜^{ぞう}穀^{こく}較^{くら}校^{けう}精^{しやう}早^{はや}

稻^{いね}晚^{おそ}稻^{いね}古^{ふる}米^{こめ}新^{あたら}米^{しやうめ}

麥^{こむぎ}大^{おほ}豆^{まめ}小^こ豆^{まめ}大^{おほ}角^{かく}豆^{まめ}

蕎^{そば}麥^{こむぎ}粟^{あわ}米^{こめ}稗^{ひやう}胡^こ

麻^{あし}苧^お菜^{さい}種^{しゆ}白^{しろ}飯^{いひ}粒^{つぶ}

彼^そ橫^{よこ}也^{なり}河^か原^{はら}之^の花^{はな}

入^{いれ}室^{むろ}與^よ人^{ひと}合^あ坐^ま殿^{だん}也^{なり}

場不衣たばすのうぎ 才さい 賣う 拂ひら
者運ものうん 便べん 水みづ 上うへ 口くち 積つみ
指さし 引ひ 小こ 瓦わ 都と 合あ
勤けん 利り 直ち 往わう 復ふく 出しゅ 入にゅう

有あ 款かん 失しつ 在ざい 今いま 歸かへ 之これ
母はは 志し 味あじ 嗜し 酒しゅ 也や
留りゅう 油あぶら 麴こう 油あぶら 蠟ろう 燭そく 紙し
平へい 氣き 毛もう 木き 此こゝ 不ふ 結むす 布ふ

玳人 金 標 縐 子 膜 子
紋 綾 縐 縐 縐 子 羽
二 年 小 縐 生 縐 下 縐 子
絨 羅 紗 縐 縐 縐 縐 縐

脊 板 七 縐 縐 縐 縐
端 拍 廉 物 仕 五 物
右 年 上 六 縐 拍 縐
本 綿 麻 苧 紬 肩 衣

漆しゅう白はく織お回まわ紐ひも福ふく袋ふくろ
拍の帷ゝ子こ表よ者しや蒲ふ團たん
救う怯けつ活くわ女にょ風ふう若じやく菽しやく
年ねん括くわく帛はく紗しや若じやく頭かぶ巾ずきん

踏た皮び并な漆しやく色しやく紺こん布ふ
色しやく橋はし漆しやく女にょ活くわ若じやく菽しやく
木もく絨じゆう漆しやく黄わう素そ漆しやく
前ぜん黄わう蕨じやく枋ぼう茜せん紅かう

粉多き法入紋海
菱籬と菊五浪
香折世法水車
水車沃浮地解菱

痛遠九曜三目浩巴
華桐柏藤萬唐子
女帝と好持才木信子
てん得武士と用具

その
まふ 浄 多 之 増 之
分 弓 笑 的 疾 絶 陰
長 刀 洋 鑽 塊 鞍 陀
泥 濠 切 付 向 壺 平 淫

暖 市 鞆 鞍 後 鞆 方
纒 柄 之 刀 根 指 之 極
目 女 鞍 極 拍 頭 滴
鞘 濠 切 付 向 壺 平 淫

其好亦烟土瑜藏
亦亦烟疾象服店
纹雕物之细工在
燕国亦时之风俗也

康物和物之象纹册
珊瑚瑞碑集马胎
琥珀毒谓水晶膏
贝阜吉吉珠之善也

堆つる茶も香の合う者ご盆ごん

前まへ盆ごん梨あし子こ地ち之の硃しゆ粉こな

之の庫ぐら之の臺たい筆ふで架か硃しゆ

屏びん之の法ほう硃しゆ石いし由よし京きやう石いし

目め燈とう中ちゆう者ご次じ

雜ざ之の者もの之の校がう者ご長ちやう

持もち校がう之の草そう首しゆ屏びん

風ふう傳でん立た襖あはせ漬ひた子こ

唯確其反洞編益

傘本腹直下垂

時所見合了為賣

美也美不程者具之

事依冠厨香新

腦棟腦沈香人冬

黃者其單肉棟

丁子月苦白檀香

苗飯巴豆連肉菜

胡紫苑苗香陳皮

桂枝三稜莪朮

牛子羌活子貝母

半夏天南星細辛

独活麻黃續斷子

蒼朮香大戟枳殼白

芷石斛以膠卷

大黃 檉柳子 杏仁 批
仁 可山 藥 硫 黃 的 礬
煅 硝 磺 青 辰 砂 練
藥 粉 藥 散 藥 膏

藥 入 心 腹 之 藥 行
不 用 量 入 藥 之 核 心
直 牙 之 也 藥 之 海
之 藥 之 藥 之 藥 之 藥

百身錫塩新製部

弱能者也 法名

物 法名 略之

法名 右にやがたは

混乱は物 量平

生 及 又 子 子 子 子

思 粗 純 毛 也 標

生 也 美 之 也 業 後

刀椎とうすい之の时とき先まづ平ひら疎そ美み
術じゆつ之の执行しやうぎん了しやう为なり所ところ
要い是こゝ是こゝ之の软じやん連れん亭てい
肥ひ溜りゅう豆まめ丸まる然ぜん鞠きよく柔じゆう

湯ゆ溜りゅう舞まい鼓こ太たい鼓こ苗めい
月げつ也なり今いま枕まくら古ふる伎ぎ之の
家か業ぎやう有あ的てき力りき折せ之の
竹たけ也なり了しやう之の或ある其その基もと也なり

茶復尔欲二味綿
長流委挂與成不
每分退勝長服如毛
泉山築山樹木香花

之樂自費宗後事
世世奇麗核抄
賦之其法牧物者見
世世奇麗核抄

善養生樂しんじふ 爲柔なつ 和わ

大人おとな 負高利おほり 掠人あつ 自みづか

毒どく 之の 罪つみ 之の 幸しあは 有し 同どう

本人ほんにん 可べ 狎な 忘わす 天てん 太たい 且かつ

之の 働はたら 車くるま 七しち 終はつ 每まい 矣や

如ごと 日にち 易い 子こ 疎そ 者もの 也なり

瑞みづ 相あひ 也なり 信しん 之の 利り 運うん

女にょ 銀ぎん 乃なり 似に 似に 伴ばん

大坂
天保
元年
三月
廿八日
御
書

